

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	消防行政統合システム整備事業				事業番号	090-018
担当部署名	消防局	局	警防部	部	通信指令課	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(1)自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上
			有	取組の方向性	①危機対応力の強化		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.5,11.b
			有	取組	「自助」「共助」「公助」の役割分担に基づく災害対策の推進		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	—		
3	事業開始年度	平成 14 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	消防組織法		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁				
6	事業の対象	消防行政統合システム（①消防指令管制システム②消防OAシステム③消防画像伝送システム）及び消防救急デジタル無線			対象数	単位
					2	システム
7	事業の目的	消防行政統合システム等の機能を維持し、当該システムを活用して効率的な消防業務が遂行できる環境を確保する。				
8	事業内容	現行の消防行政統合システムの定期点検・保守管理を実施し、障害発生時等における迅速な修理・復旧を行っている。 最新のICT技術を導入し、長期使用による経年劣化や耐用年数から定期的に機器を更新しており、令和元年度末に消防行政統合システムの全部更新を完了し、次回全部更新までの間に必要な中間更新を令和7年度から令和9年度にかけて実施する。 また、平成24年度から平成28年度にかけて整備した消防救急デジタル無線について、全部更新を令和7年度から令和9年度にかけて実施する。				
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—				
9	主な支出先	株式会社日立製作所・富士通Japan株式会社				
10	公民連携・協働事業	—				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標	単位		実績		目標	目標
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
11	システムの安定稼働達成日数	日	目標値 365	365	365	365
			実績値 365	365		
			達成率 100%	100%		
	当該指標を選定した理由	消防行政統合システム等は市民の生命・身体及び財産を火災等から保護することに直結しており、1日でもシステム停止等の重大障害を起こせないため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	システム停止等の重大障害の発生なく稼働させた日数				
活動指標	単位		実績		目標	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
12	年間保守点検の実施回数	回	目標値 118	118	126	
			実績値 118	118		
			達成率 100%	100%		
	当該指標を選定した理由	24時間365日安定稼働させるために必要な年間保守点検の実施回数				
	目標値の設定根拠・算出方法	安定稼働に必要な点検回数に対する実際の年間実施回数				

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	消防行政統合システム整備事業	事業番号	090-018
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	302,535	664,167	652,061	617,433	344,767
	財 源					
	国支出金	0	0	25,530	14,019	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	52,700	414,700	404,700	108,600
	その他（和泉市負担金、売払収入）	54,780	385,822	11,483	10,959	24,534
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
14	人件費（b）	32,400	32,400	33,600	33,600	34,800
	一般財源	247,755	225,645	200,348	187,755	211,633
15	年間経費（c）=(a)+(b)	334,935	696,567	685,661	651,033	379,567

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	R8				R7	R8		
16	事業費内訳	消防行政統合システム保守管理業務【拡充】	R7 決算	85,416	74,457	消防救急無線保守管理業務	R7 決算		66,209	66,209
			R8 予算	95,752	83,019		R8 予算		66,124	66,124
	消防行政統合システム改修業務（和泉市指令受託関連）	R7 決算	0	0	無線中継車保守業務ほか委託料	R7 決算			7,116	7,116
		R8 予算	11,801	0		R8 予算			5,493	5,493
	消防行政統合システム改修業務（上記以外）	R7 決算	14,019	0	DRIVE RECORDER119ライセンス使用料	R7 決算			35,000	0
		R8 予算	26,857	26,857		R8 予算			0	0
	消防行政統合システム中間更新業務	R7 決算	360,983	83	報償費・役務費・使用料及び賃借料（上記使用料を除く。）	R7 決算			38,511	38,511
		R8 予算	108,680	80		R8 予算			30,060	30,060
	消防救急デジタル無線設備更新実施設計業務	R7 決算	8,800	0	備品購入費	R7 決算			1,379	1,379
		R8 予算	0	0		R8 予算			0	0

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和6年度	令和7年度
	①	年間保守点検の実施回数	回	118	118
	②	上記①にかかる年間経費	千円	29,400	28,850
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	249,153	244,492
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	職員による日常点検及び事業者による定期保守点検を実施することで、令和6年度・令和7年度いずれも年間365日の安定稼働を達成し、保守点検も目標どおり実施するなど成果指標は高い達成率を維持している。これにより、24時間365日途切れない消防指令体制を確保し、119番通報の確実な受信や消防救急活動体制の確保を通じて、市民の安全・安心に寄与している。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	堺市基本計画2025及び堺市SDGs未来都市計画の戦略等に基づき、職員による日常点検及び事業者による定期保守点検を実施することで、各種災害等が発生した場合でも継続して消防行政統合システム及び消防救急無線設備による災害対応が可能な体制を確保している。令和6年度及び令和7年度においては、システムの安定稼働日数が年間365日を達成し、保守点検回数も目標どおり実施するなど高い達成率を維持しており、24時間365日安定稼働させたことで、市民の安全・安心の確保に寄与している。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	本事業は、消防行政統合システム等の安定稼働を継続的に確保し、119番通報対応や災害時の指令体制を維持する基盤であることから必要性は高い。令和3年度以降も安定稼働を維持し、市民の安全・安心の確保に寄与していることから、有効性も高い事業である。
	有効性	■ 高い □ 低い	